

高校生のスマートフォン等の 使用によるトラブルを 防ぐために！



「スマートフォン等」とは、携帯電話、スマートフォン及びパソコンなどの情報通信機器を指します。

近年、スマートフォン等を使用したインターネットの長時間利用により、学習面や健康面、対人関係等への影響が懸念されています。

また、北海道においては、高校生によるインターネット上での個人情報の流出や誹謗中傷などの不適切な書き込みが年間 10,000 件を超えているほか、全国的にはコミュニティサイトでのやりとりをきっかけとした 18 歳未満の犯罪被害が増加傾向にあります。

■ 使用について決めた ルールを守りましょう。

- ◇ 一日の使用時間に関するルール
- ◇ 使用可能な時間帯や場所（場面）に関するルール
など

■ フィルタリングを 確実に設定しましょう。

- ◇ フィルタリング機能の解除や無効化は、ネット
トラブルの被害につながります。

■ 家庭でも取り組みましょう。

- ◇ 家庭でのルールづくり
- ◇ 子どもの使用状況の把握



※ この資料は、スマートフォン等の所持を勧めるものではありません。

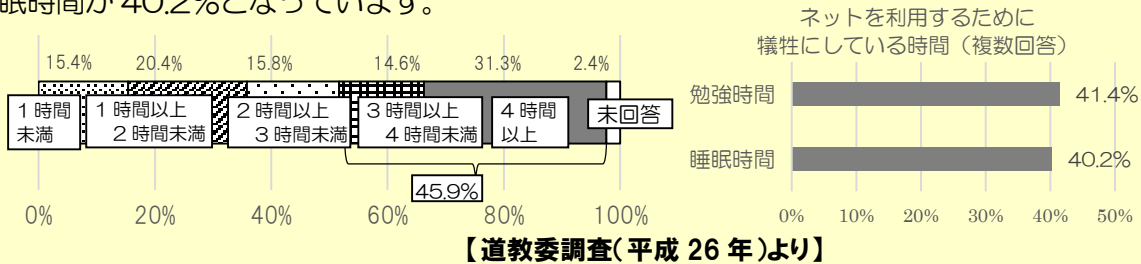
次のデータを見て家庭で一緒に考えてみましょう

スマートフォン等と上手に付き合うには…!?

北海道の高校生は長時間使用！

- 北海道教育委員会と内閣府の調査によると、高校生の平均利用時間は、全国が2時間14分（平成25年内閣府調査）であるのに対し、北海道は3時間11分です。また、3時間以上使用している割合は45.9%となっています。

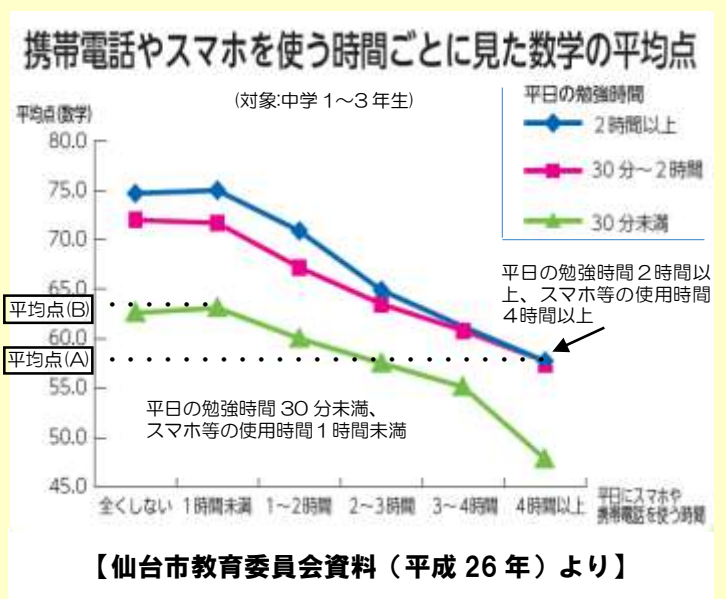
ネットを利用するために犠牲にしている時間でもっとも多い回答は、勉強時間で41.4%、次いで睡眠時間が40.2%となっています。



中学生の長時間使用は学習内容の定着に悪影響!?

- 仙台市教育委員会が中学生を対象に実施した「標準学力検査」と「生活・学習状況調査」を分析した結果、数学の平均点とスマホ等の使用時間との関係について、次のような状況が明らかになりました。

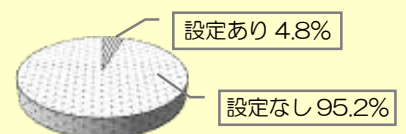
- 1 数学の平均点は、平日の勉強時間にかかわらず、スマホ等の使用時間が長くなるほど低下している。
- 2 「平日に、勉強時間が2時間以上で、4時間以上スマホ等を使用している生徒」の数学の平均点(A)は、「平日に、勉強時間が30分未満で、1時間未満スマホ等を使用している生徒」の平均点(B)より、低くなっている。



ネットトラブルの被害にあった子どもの多くはフィルタリングを設定していませんでした！

- 平成26年11月に警察庁が発表した資料によると、コミュニケーションサイトの利用などにより、犯罪被害にあった18歳未満の子どもは、全国で698人（前年比100人増）となっており、そのうち、フィルタリングの設定を行っていなかった子どもの割合は、95.2%に上ります。

犯罪被害にあった18歳未満の子どもへのフィルタリングの設定状況



【警察庁資料(平成26年)より】

※ この資料は、スマートフォン等の所持を勧めるものではありません。